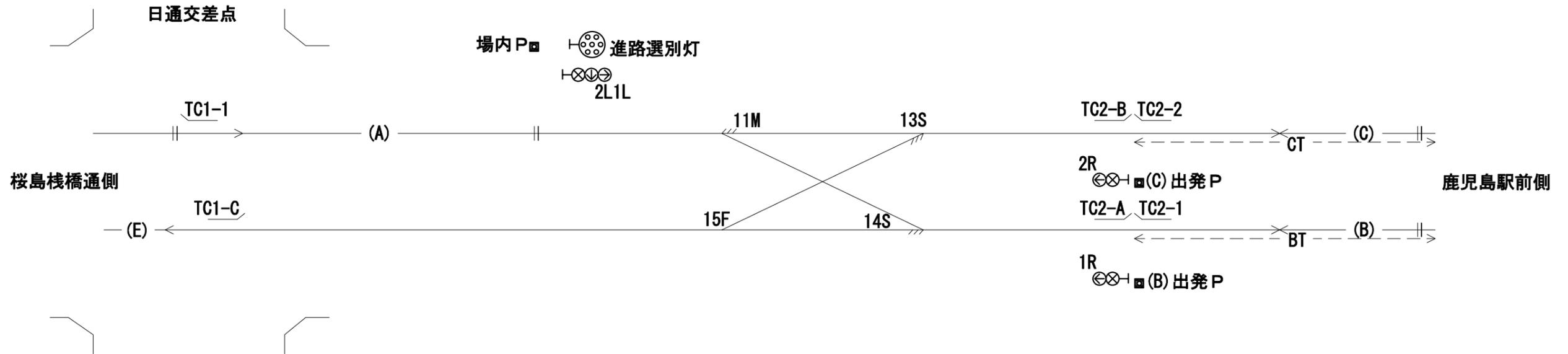


鹿児島駅前連動図表（仮設）



凡例

: トロリーコンタクタ
 : 進路選別灯
 || : 停止線
 : 現場操作箱
 : 軌道信号機

第3種 継電連動装置

名称	番号	鎖錠欄	信号制御又はてつ査鎖錠欄	進路鎖錠欄	近接鎖錠又は保留鎖錠	自動制御条件	自動復位条件
軌道信号機	A-B	1L	⑪ 1R 2R			TC1-1 ^① 又は 場内P(1L)但し BT	当該進路進行によりTC2-1車両検知又は場内P(1L、2L取消)を押す。
	A-C	2L	11 2R			TC1-1 ^② 又は 場内P(2L)但し CT	当該進路進行によりTC2-2車両検知又は場内P(1L、2L取消)を押す。
	B-E	1R	1L 2R			(B) 出発P	当該進路進行によりTC1-C車両検知又は(B) 出発P(取消)を押す。
	C-E	2R	1L 2L 1R			(C) 出発P	当該進路進行によりTC1-C車両検知又は(C) 出発P(取消)を押す。
転てつ機	電気式	11M					
	発条式	13S					
		14S					
	フリー	15F					

備考

- 軌道信号機 1L、2L、1R、2Rについて、運用上不都合が無い時、進行としても良いことを運転手に示すために設置する。
- 軌道信号機 1L、2L、1R、2Rについて、内方進入は当該軌道信号機手前で運転手が一度停止を行い、進行現示の他、当該進路を支障する車両が在線していないことを確認した上で行う。進路復位は局員が、十分注意した上で行き、第3者による操作は無いように設置する。そのため、信号制御又はてつ査鎖錠、進路鎖錠、接近又は保留鎖錠の機能は当該軌道信号機に含まないこととする。
- 連動図中、 は、TC2-1 で車両が検知され、折り返した車両が TC2-A で検知されるまでの間、BT に在線していることを示す。
- 連動図中、 は、TC2-2 で車両が検知され、折り返した車両が TC2-B で検知されるまでの間、CT に在線していることを示す。
- 直曲灯はそれぞれの進路毎に 10 秒間点灯、移行時は 2 秒間消灯します。尚この状態を進路設定続けます。
- (B) 出発 P には 1R の進路設定用の釦(1R)のほかに進路取消用の釦(取消)も設ける。(C) 出発 P も同様。
- 自動制御条件欄の (B) 出発 P は釦(1R)が押下されてから、自動進路復位条件が成立するまで、の間反位となる条件を示す。(C) 出発 P も同様。
- 場内 P には 1L、2L の進路設定用の釦(1L)、(2L)のほかにも 1L、2L 共通の進路取消用の釦(1L、2L 取消)も設ける。
- 自動制御条件欄の 場内 P(1L) は釦(1L)が押下されてから、自動進路復位条件が成立するまで、の間反位となる条件を示す。場内 P(2L) も同様。
- 自動制御条件欄の TC1-1^① は直曲灯が^① 点灯中 TC1-1 が車両を検知されてから、自動進路復位条件が成立するまで、の間反位となる条件を示す。TC1-1^② も同様。
- 自動制御条件欄の 場内 P(1L) 但し BT は 場内 P(1L) 時、当該進路が自動制御されることを示す。但し BT の場合に行う。場内 P(2L) 但し CT も同様。

工 事 件 名			
事 業 名	鹿児島駅前停留場整備事業		
工事箇所	鹿児島市 浜町		
図面種類	鹿児島駅前連動図表（仮設）		
図面番号	全 の	作製	H31年 1月
鹿児島市交通局			